

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2024年6月13日

静岡県知事 川勝 平太 殿

提出者

住所 東京都千代田区丸の内1丁目6番5号

氏名 日本食品化工株式会社

代表取締役社長 荒川 健

電話番号 03 - 3212 - 9111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

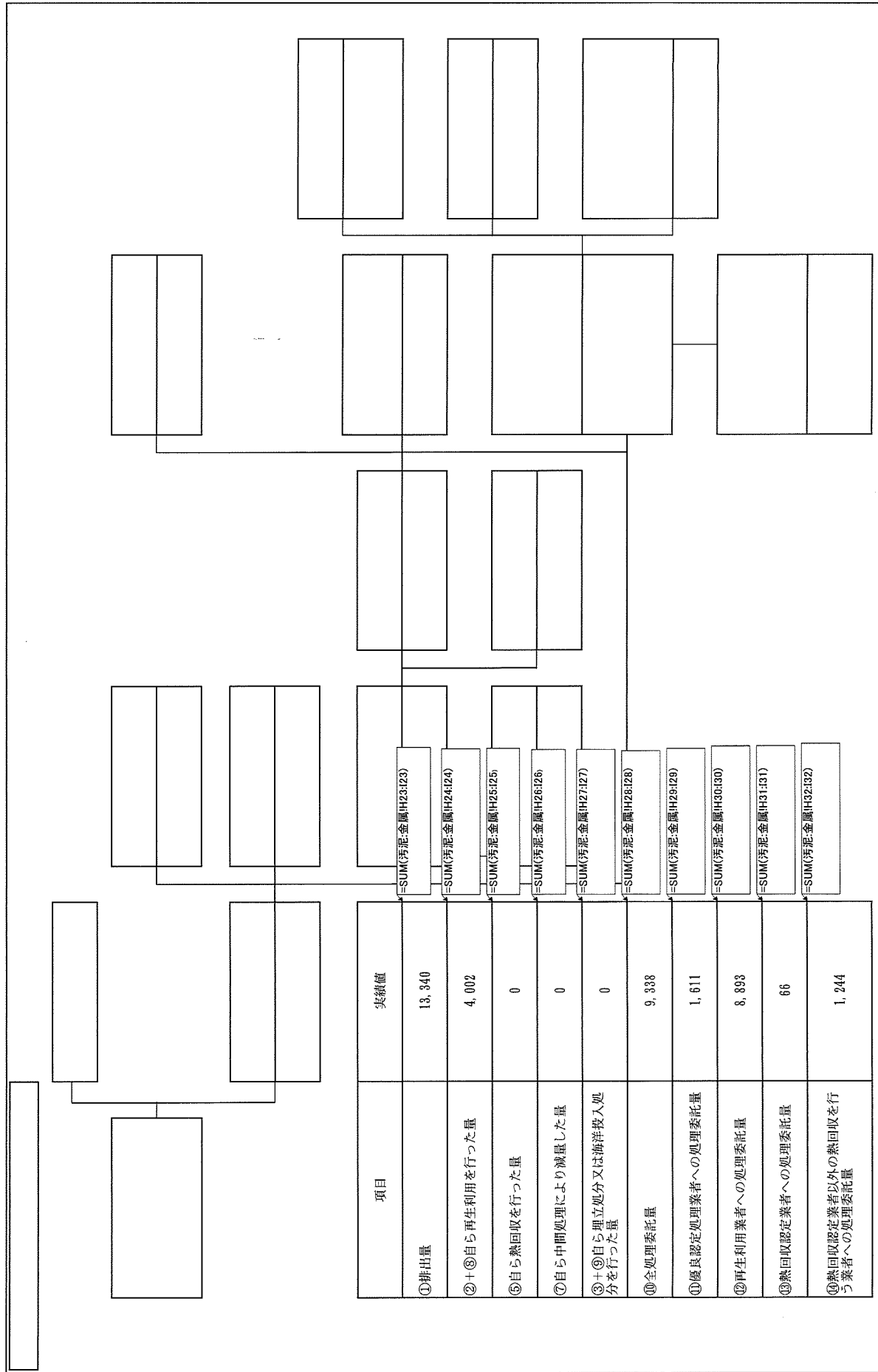
事業場の名称	日本食品化工株式会社富士工場
事業場の所在地	静岡県富士市田島30番地
事業の種類	食料品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	13252t	全処理委託量	9,152t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	4100t	優良認定処理業者への処理委託量	1,759t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	8,772t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への処理委託量	0.024t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1,300t

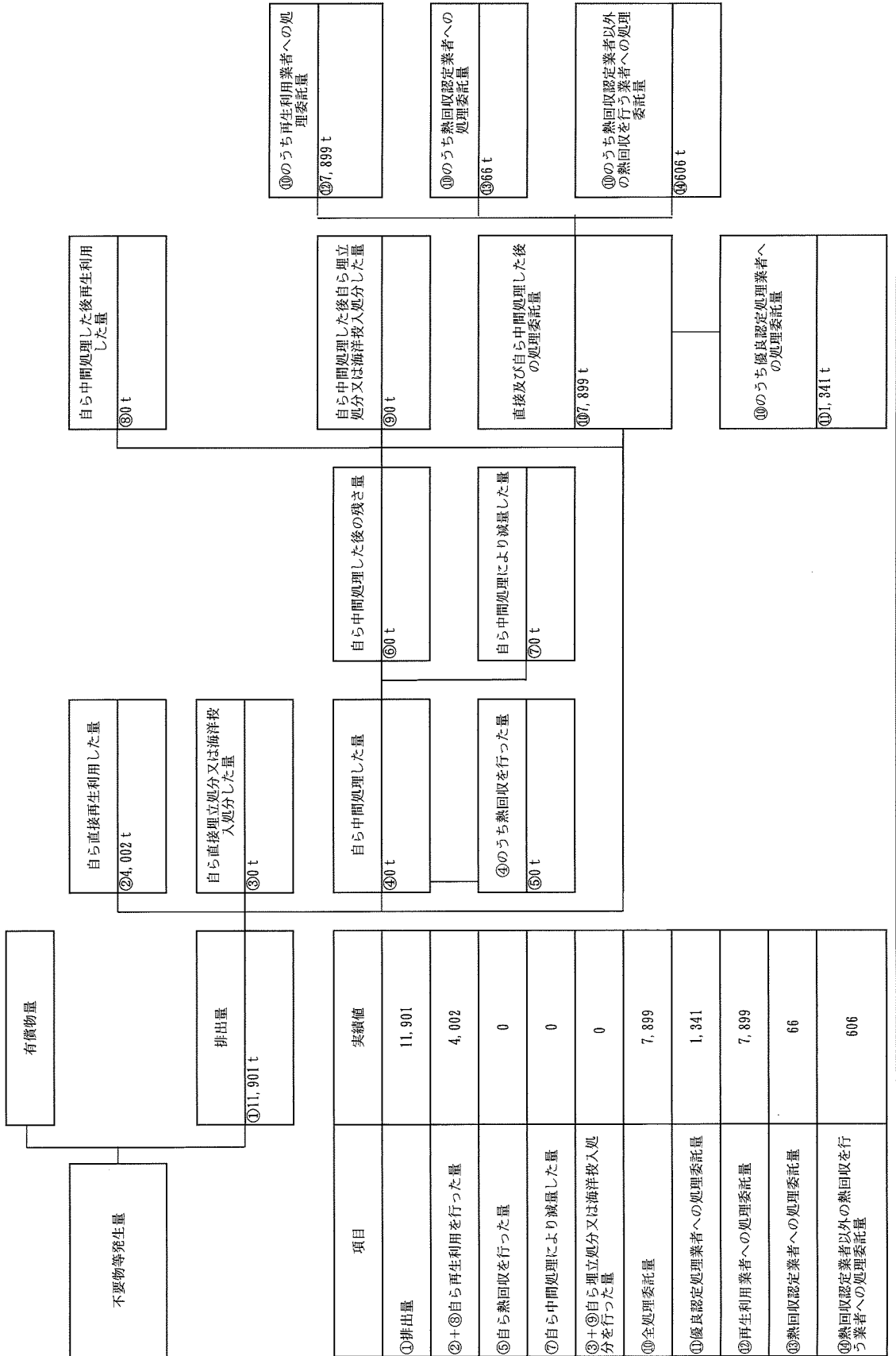
※事務処理欄

(日本工業規格 A列4番)



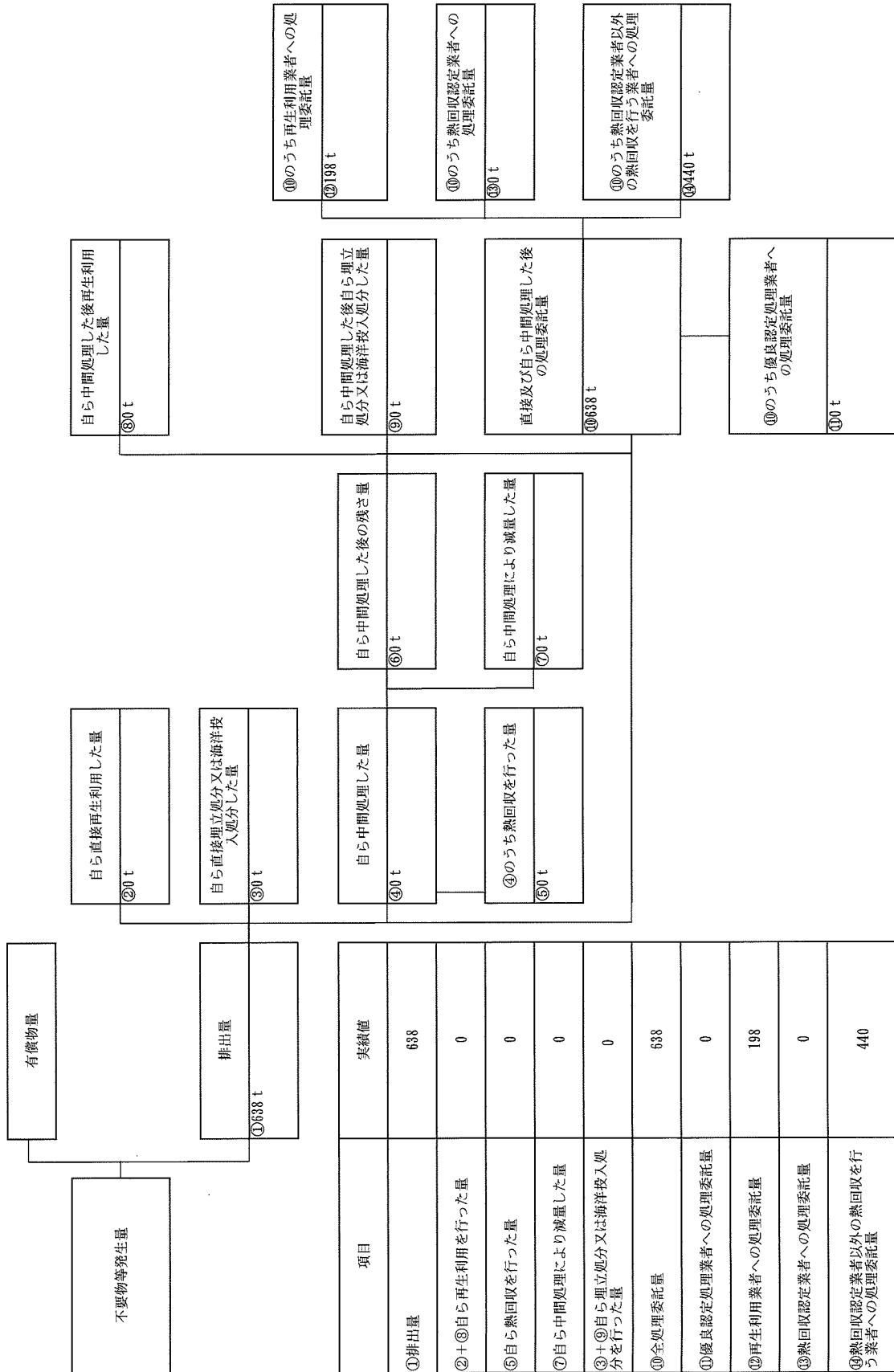
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥)



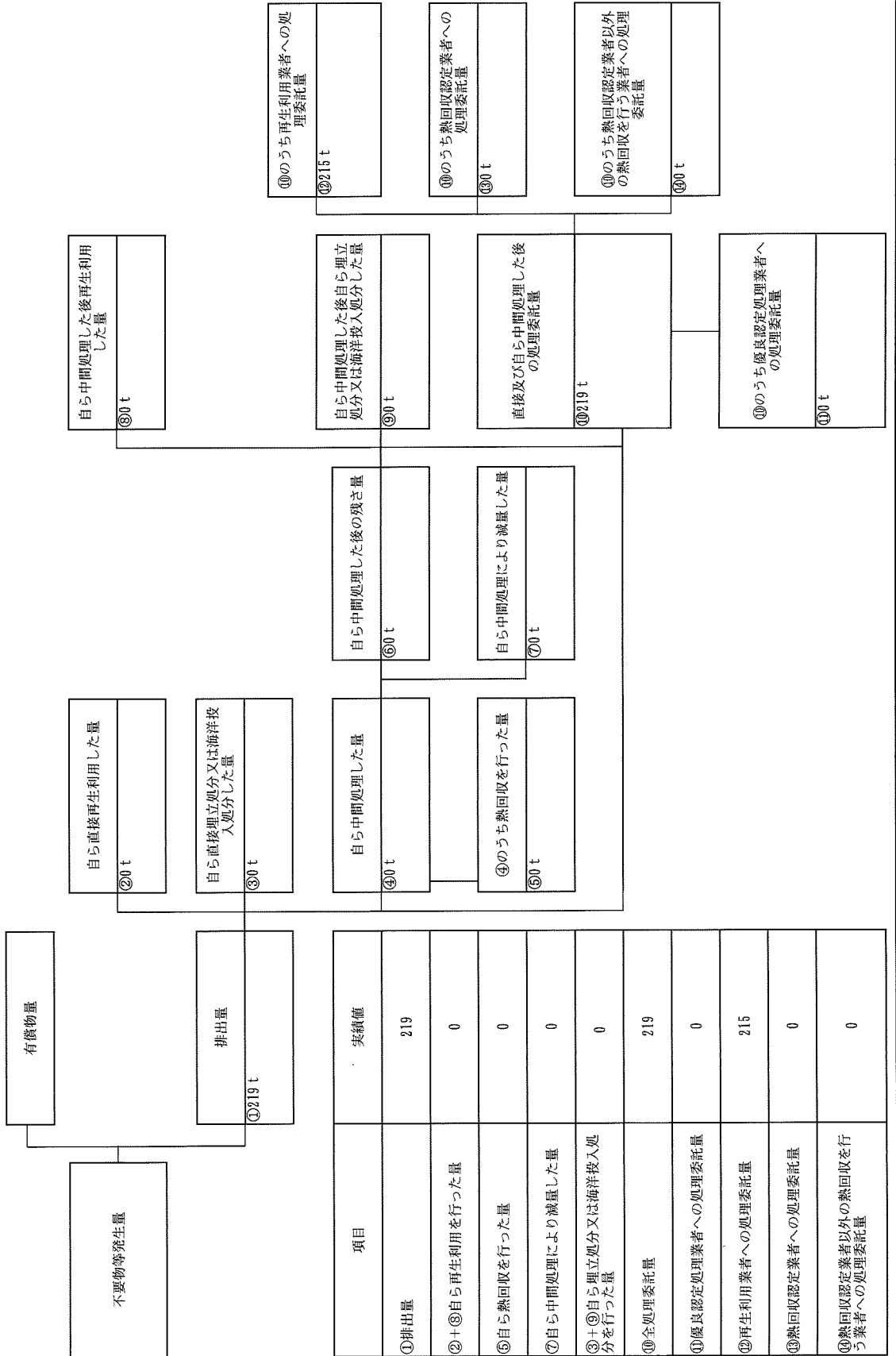
項目	実績値
①排出量	11,901
②+⑤自ら再生利用を行った量	4,002
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	7,899
⑩優良認定処理業者への処理委託量	1,341
⑩再生利用業者への処理委託量	7,899
⑩熱回収認定業者への処理委託量	66
⑩熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	606

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類：動植物性残さ)



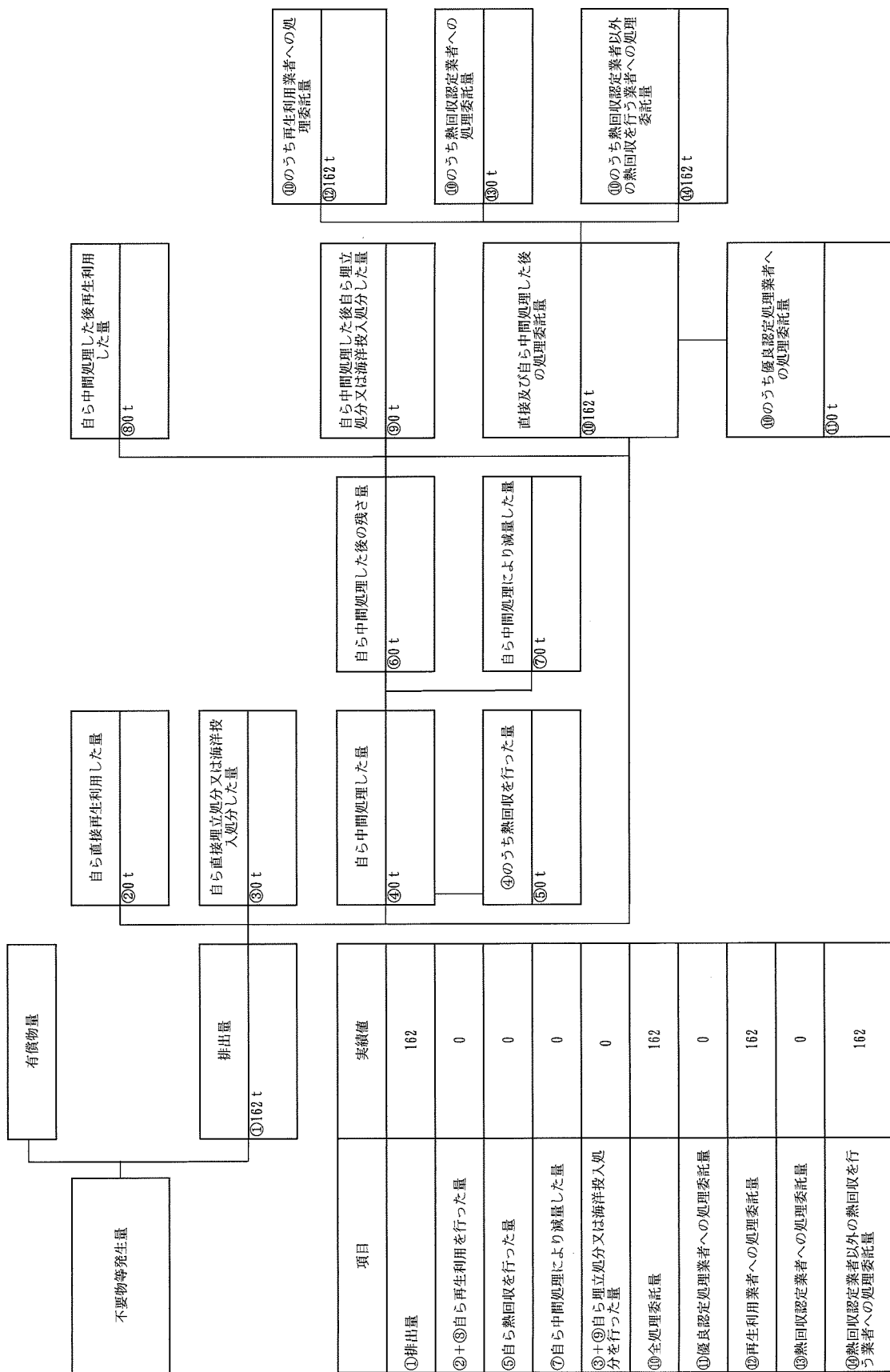
項目	実績値
①排出量	638
②+⑤自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	638
⑩優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	198
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑯熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	440

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類：ばいじん)



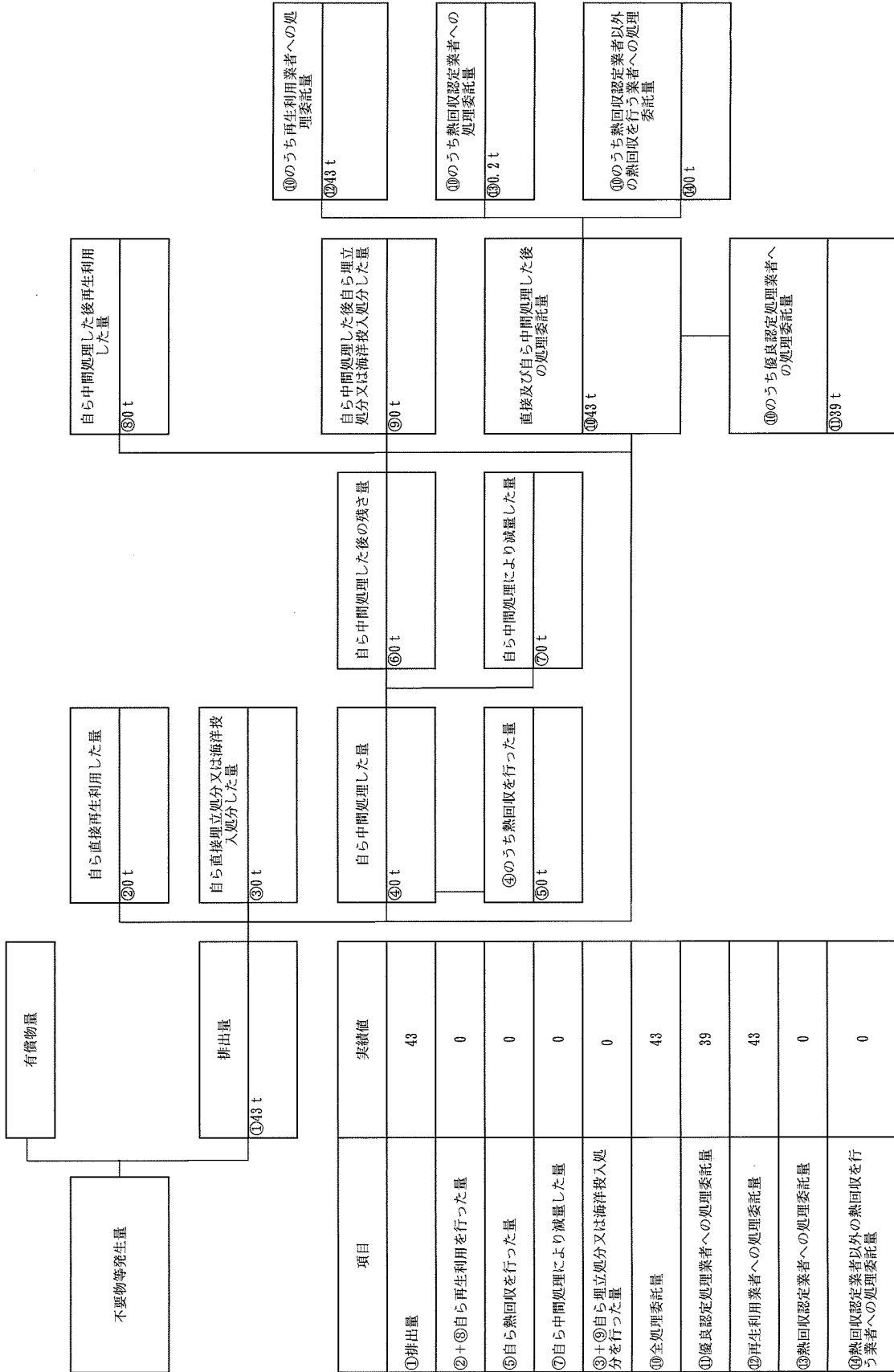
項目	実績値
①排出量	219
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	219
⑩優良認定処理業者への処理委託量	0
⑩再生利用業者への処理委託量	215
⑩熱回収認定業者への処理委託量	0
⑩熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況
(産業廃棄物の種類：汚泥・廃油混合物)



項目	実績値
①排出量	162
②+⑤自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	162
⑩優良認定処理業者への処理委託量	0
⑩再生利用業者への処理委託量	162
⑩熱回収認定業者への処理委託量	0
⑩熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	162

計画の実施状況
(産業廃棄物の種類：廃油)

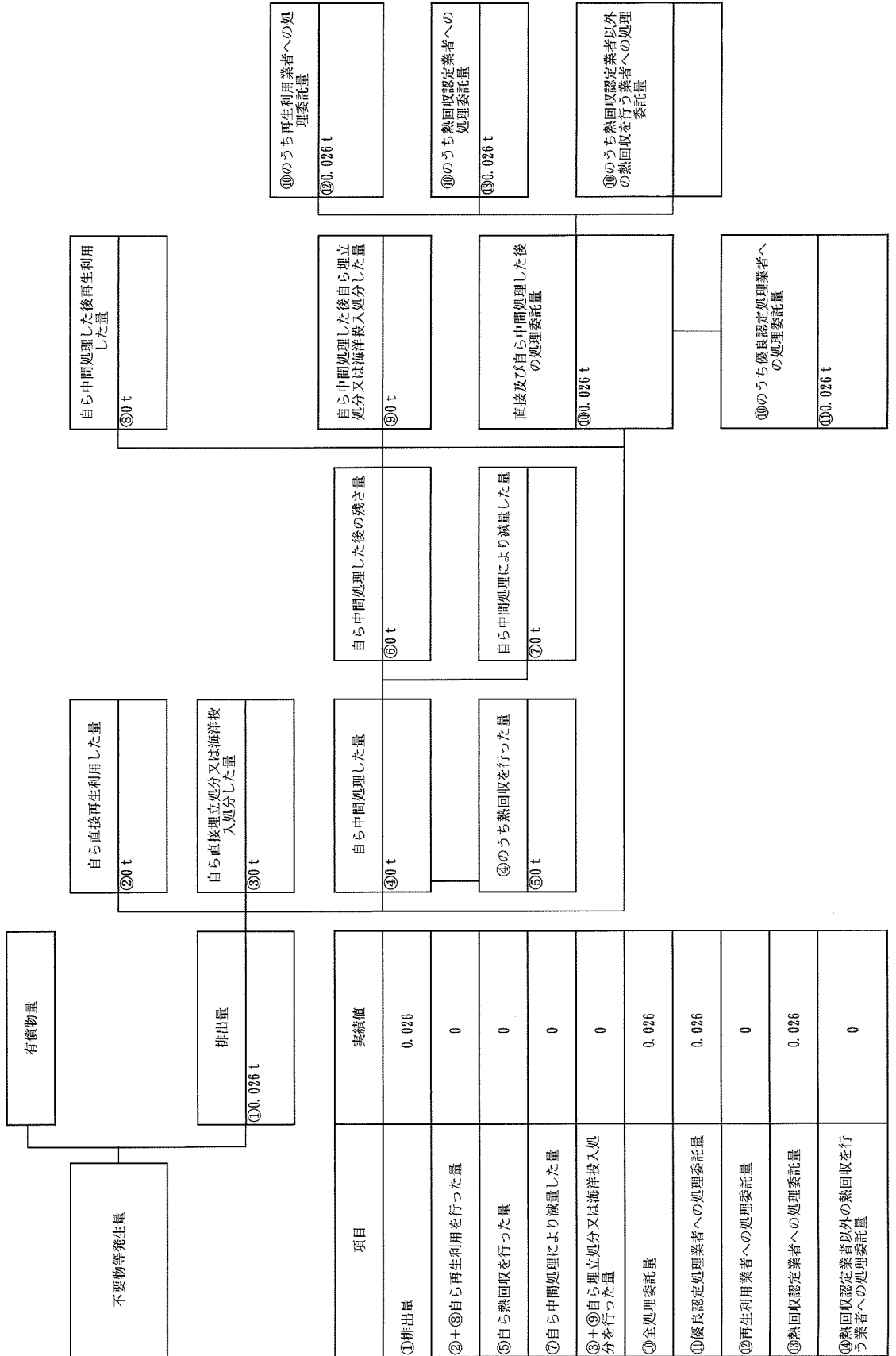


項目	実績値
①排出量	43
②+⑤自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑥自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	43
⑩優良認定処理業者への処理委託量	39
⑫再生利用業者への処理委託量	43
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

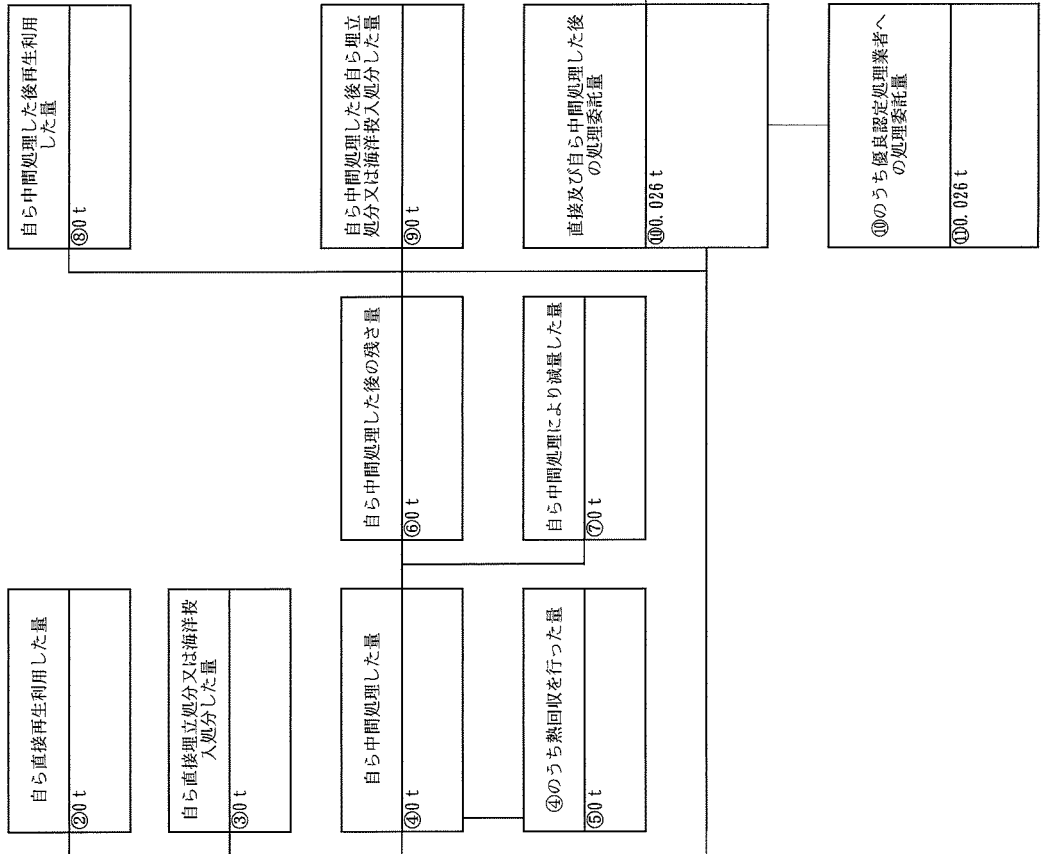
自ら直接再生利用した量 ②0 t	自ら中間処理した量 ④0 t	自ら中間処理した後の残さ量 ⑥0 t	自ら中間処理した後再生利用した量 ⑧0 t
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 ③0 t	④のうち熱回収を行った量 ⑤0 t	自ら中間処理により減量した量 ⑦0 t	自ら中間処理した後は埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑨0 t
			直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 ⑩43 t
			⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑫43 t
			⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑬0 t
			⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑭39 t

産業廃棄物の種類：廃酸

計画の実施状況



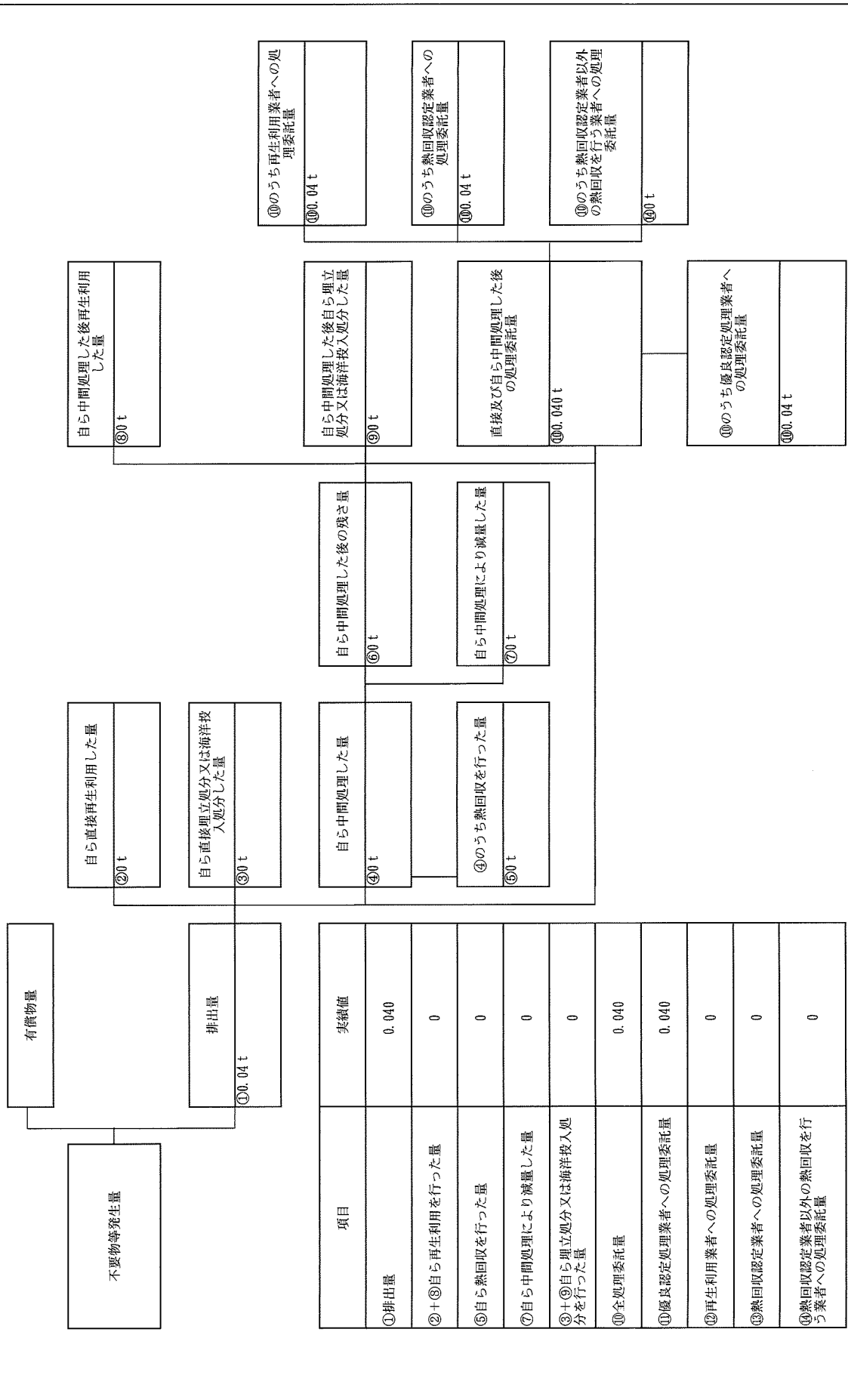
項目	実績値
①排出量	0.026
②+⑤自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら理立処分又は海洋投入を行った量	0
⑩全処理委託量	0.026
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.026
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.026
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



⑩のうち再生利用業者への処理委託量	0.026 t
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0.026 t
⑩のうち熱回収を行う業者への処理委託量	

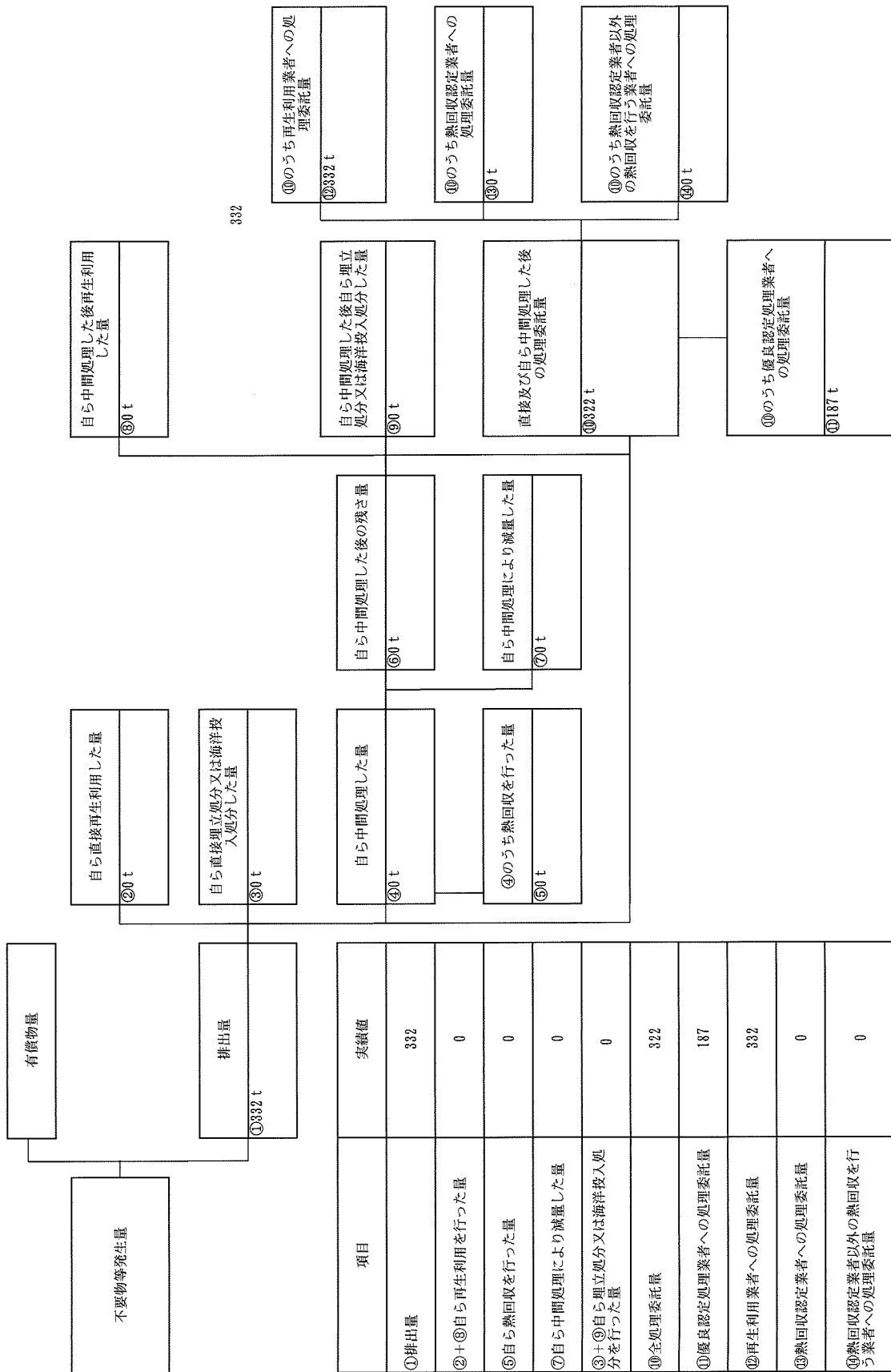
⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	0.026 t

計画の実施状況
(産業廃棄物の種類：廃アルカリ)



項目	実績値
①排出量	0.040
②+⑤自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.040
⑩優良認定処理業者への処理委託量	0.040
⑩再生利用者への処理委託量	0
⑩熱回収認定業者への処理委託量	0
⑩熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)



332

項目	実績値
①排出量	332
②+⑤自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	332
①廃良認定処理業者への処理委託量	187
②再生利用業者への処理委託量	332
③熱回収認定業者への処理委託量	0
④熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら中間処理した後再生利用した量
②0 t

自ら直接再生利用した量
②0 t

排出量
⑬332 t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
③0 t

自ら中間処理した後の残さ量
⑥0 t

自ら中間処理した量
④0 t

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑨0 t

自ら中間処理により減量した量
⑦0 t

④のうち熱回収を行った量
⑤0 t

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑩322 t

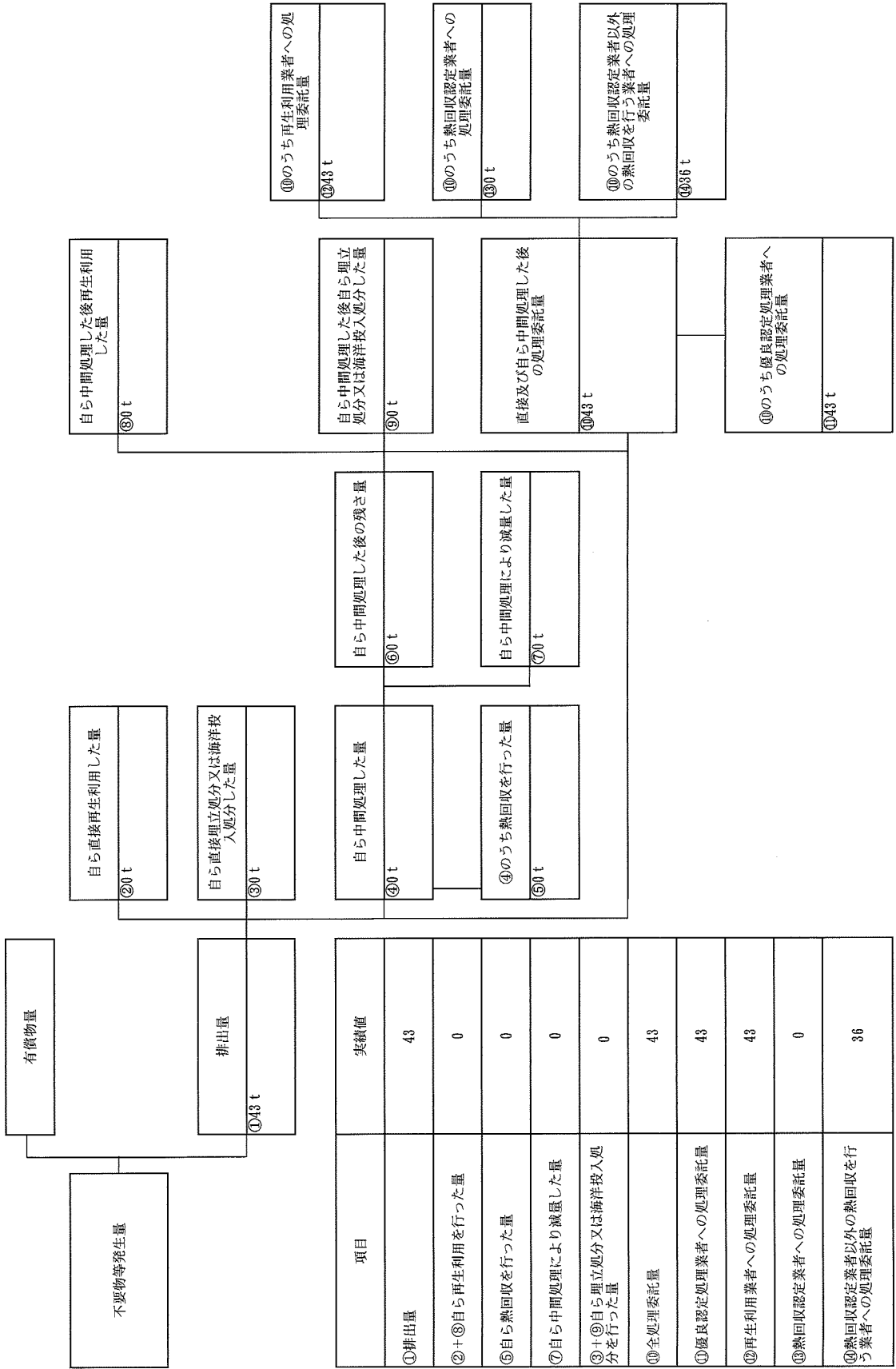
⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑭332 t

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑮0 t

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑯0 t

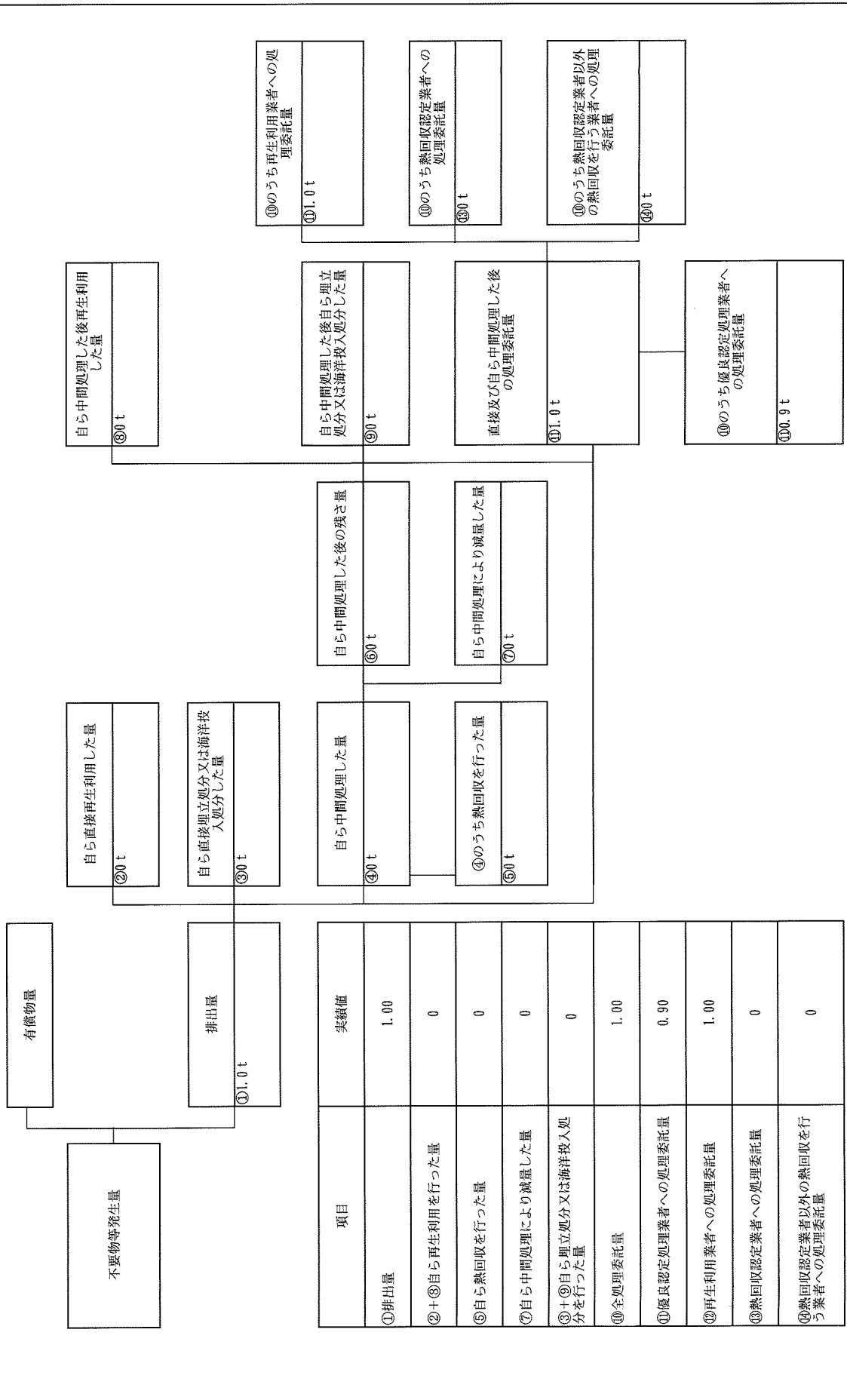
⑩のうち廃良認定処理業者への処理委託量
⑰187 t

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類：木くず)



項目	実績値
①排出量	43
②+⑤自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	43
⑩優良認定処理業者への処理委託量	43
⑩再生利用業者への処理委託量	43
⑩熱回収認定業者への処理委託量	0
⑩熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	36

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類：ガラス・コンクリート・陶磁器くず)



自ら中間処理した後再生利用した量
⑧0 t

自ら直接再生利用した量
②0 t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
③0 t

排出量
⑩1.0 t

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑨0 t

自ら中間処理した後の残さ量
⑥0 t

自ら中間処理した量
④0 t

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑩1.0 t

自ら中間処理により減量した量
⑦0 t

④のうち熱回収を行った量
⑤0 t

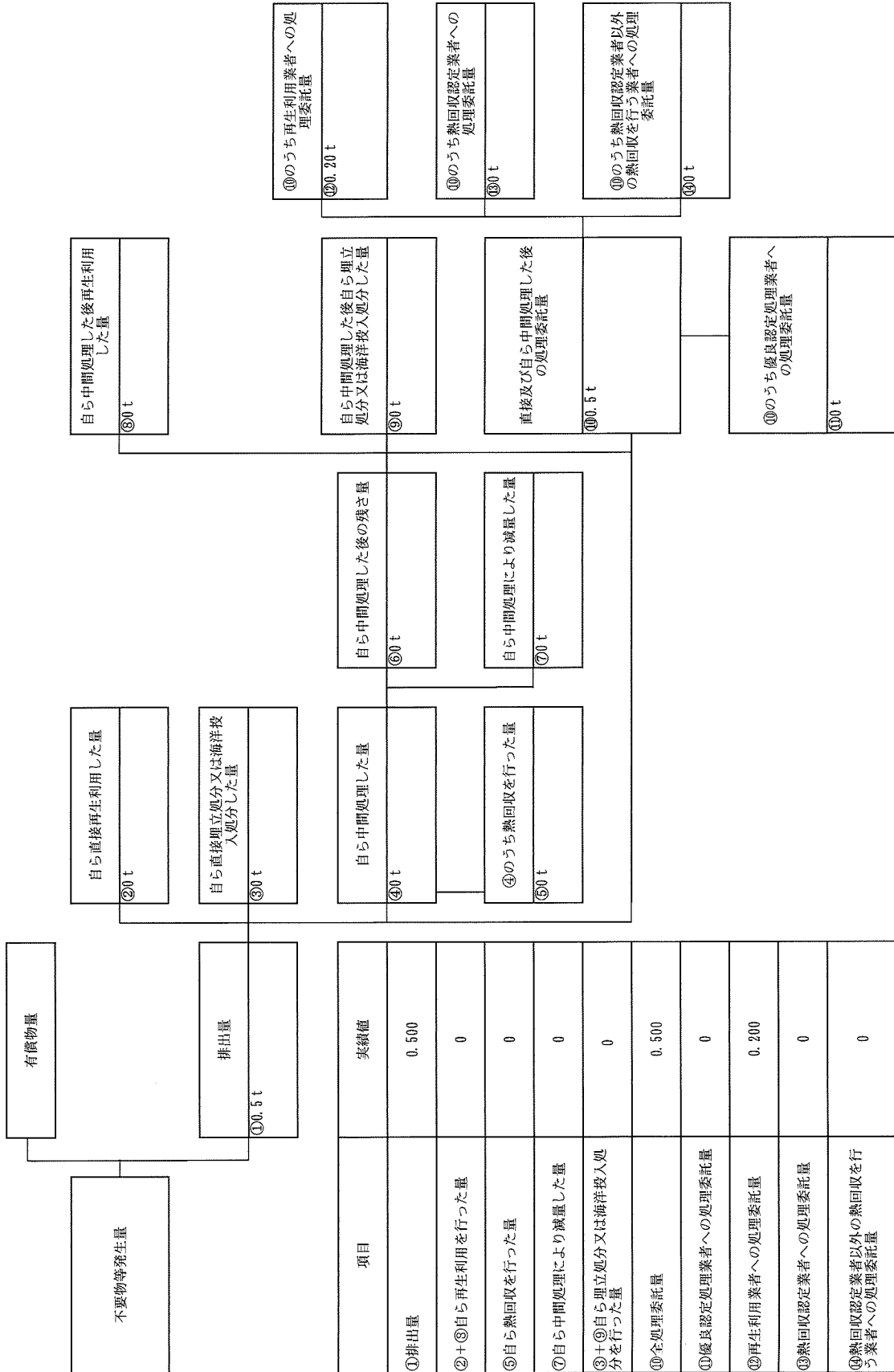
⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑩1.0 t

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑩0 t

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑩0 t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑩0.9 t

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類：金属くず)



自ら中間処理した後再生利用した量
⑧0 t

自ら直接再生利用した量
②0 t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
③0 t

排出量
⑩0.5 t

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑨0 t

自ら中間処理した後の残さ量
⑥0 t

自ら中間処理した量
④0 t

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑩0.5 t

自ら中間処理により減量した量
⑦0 t

④のうち熱回収を行った量
⑤0 t

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑩0 t

③+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
0

⑩全処理委託量
0.500

⑩優良認定処理業者への処理委託量
0

⑫再生利用業者への処理委託量
0.200

⑬熱回収認定業者への処理委託量
0

⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑩0.20 t

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑩0 t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑩0 t

項目
実績値
①排出量
0.500

②+⑤自ら再生利用を行った量
0

⑤自ら熱回収を行った量
0

⑦自ら中間処理により減量した量
0

③+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
0

⑩全処理委託量
0.500

⑩優良認定処理業者への処理委託量
0

⑫再生利用業者への処理委託量
0.200

⑬熱回収認定業者への処理委託量
0

⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- # 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。